



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所
ニュース&トピックス
(2016.9.1)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <http://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の定期積金の動向

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 信用金庫の平成27年度末の定期積金残高は、前期比1.0%増加の4兆9,893億円となり、18年ぶりの増加を示した。
- 地区別の定期積金残高は、9地区で前期比増加し、2地区で前期を下回った。増加した地区では、四国と東北が4%を超える伸びを示した。
- 17年度末から27年度末の都道府県別の定期積金残高と口数の増減関係をみると、2県で残高と口数が増加している。
- 27年度末の定期積金残高の増減状況は、前期比増加が171金庫、前期比減少は94金庫となり、3年連続で増加金庫が減少金庫を上回った。
- 27年度末の定期積金比率は、①2%未満が24金庫、②2%以上4%未満が98金庫、③4%以上6%未満が103金庫、④6%以上は40金庫となる。

※本稿は、日本銀行「預金者別預金調査表」より作成している。

1. 定期積金の状況

(1) 残高の推移

平成27年度末の定期積金残高は、前期比1.0%、523億円増加の4兆9,893億円となり、18年ぶりに増加に転じた(図表1)。預金残高に占める定期積金の割合(定期積金比率)は、前期並みの3.7%にとどまる。

17年度末の残高と比較すると、22.9%、1兆4,841億円減少した。定期積金比率も5.9%から3.7%に低下している。

(2) 口数の推移

27年度末の定期積金口数は、前期比2.7%、25万口減少の897万口となった(図表2)。17年度末と比較すると、33.0%、443万口減少し

た。そのため1口あたり定期積金の残高は48万円から55万円まで増加している。

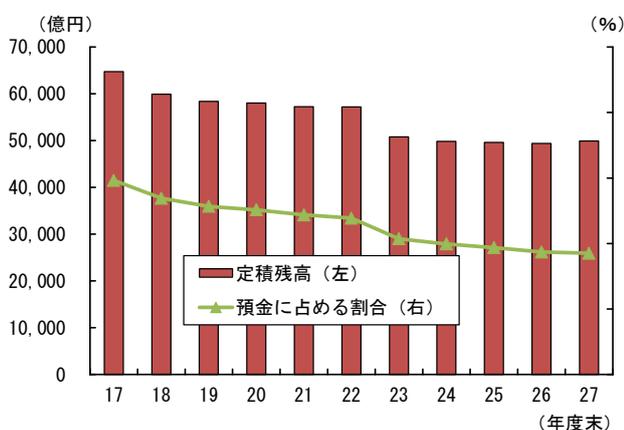
2. 地区別の状況

27年度末の地区別の定期積金残高は、9地区で前期比増加し、2地区で前期を下回った(図表3)。

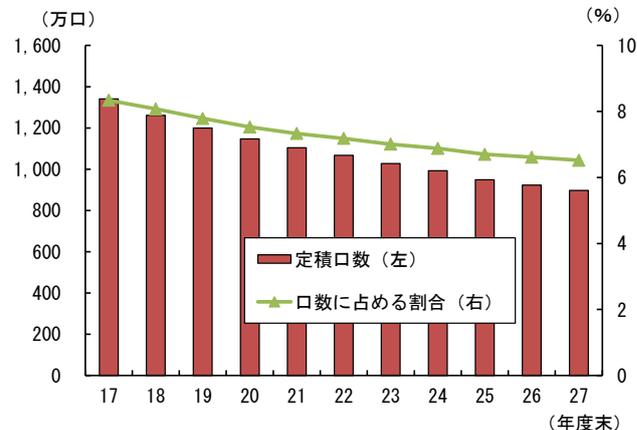
増加率の高かった順に四国(前期比4.7%増)、東北(4.3%増)、近畿(3.9%増)となる。一方、減少地区では東京の6.9%減が目立つ。また、地区別の定期積金比率は、北陸の5.5%から近畿の2.8%まで差がみられた。

17年度末と比較すると、四国(24.9%増)を除く10地区で残高が2桁減となる。このうち

(図表1) 定期積金の残高の推移



(図表2) 定期積金口数の推移



(備考) 本稿では他業態との合併等は考慮していない。

中国が4割、東京が3割を超える減少を示した。

3. 都道府県別の状況

27年度末の都道府県別の定期積金残高は、前期比増加が31道府県、前期比減少は16都府県となった。定期積金比率は、2%未満が2府県、6%以上は2県それぞれある。

17年度末から27年度末の都道府県別の定期積金残高と先数の関係は、①残高・口数ともに増加が2県、②残高増・口数減が3県、残る42都道府県は、残高・口数ともに減少となった(図表4)。この10年間をみると、渉外営業の効率化の影響などから、残高・口数ともに減少する都道府県が大半を占めた。

4. 信用金庫別の状況

(1) 27年度中の増減

27年度末の信用金庫別の定期積金残高の増減状況は、前期比増加が171金庫(構成比64.5%)、前期比減少は94金庫(35.4%)となり、3年連続で増加金庫が減少金庫を上回った。

このうち前期比20%以上残高が増加したのは5金庫あった。5金庫の本店所在地区は、北海道1金庫、東北1金庫、関東1金庫、近畿2金庫となる。一方、前期比10%超残高が減少したのは6金庫あったが、うち5金庫は預金量が1兆円を超える規模となる。

(2) 定期積金比率

27年度末の信用金庫別の定期積金比率は、①2%未満が24金庫(構成比9.0%)、②2%以上4%未満が98金庫(36.9%)、③4%以上6%未満が103金庫(38.8%)、④6%以上は40金庫(15.0%)となった(図表5)。

17年度末の割合と比較すると、2%未満が1.7%(5金庫)から9.0%(24金庫)に上昇した一方で、6%以上は56.1%(164金庫)から15.0%(40金庫)に低下している。

なお、27年度末の定期積金比率が1%未満を抽出すると7金庫あり、そのうち近畿に本店を有する信用金庫が3金庫あった。

以上

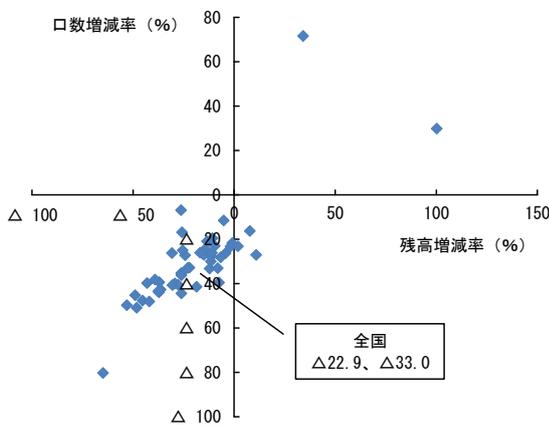
(図表3) 地区別の定期積金残高

(単位：億円、%)

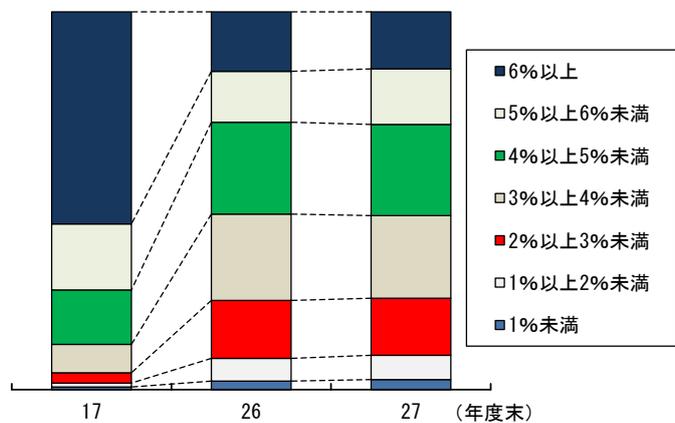
地区	17年度末		26年度末		27年度末			17年度末比		26年度末比	
	預金に占める割合	増減率	預金に占める割合	増減率	預金に占める割合	構成比	増減率	増減額	増減率	増減額	
											増減率
北海道	2,595	4.4	2,228	3.2	2,311	3.3	4.6	△ 10.9	△ 283	3.7	83
東北	2,685	6.6	2,178	4.2	2,273	4.3	4.5	△ 15.3	△ 412	4.3	94
東京	15,158	7.3	10,277	4.3	9,642	4.0	19.3	△ 36.3	△ 5,515	△ 6.1	△ 634
関東	10,422	4.9	8,104	3.2	8,253	3.2	16.5	△ 20.8	△ 2,169	1.8	149
北陸	2,497	7.4	1,996	5.4	2,058	5.5	4.1	△ 17.5	△ 438	3.1	62
東海	14,923	6.8	12,257	4.4	12,670	4.4	25.3	△ 15.0	△ 2,252	3.3	412
近畿	9,995	4.6	7,524	2.7	7,819	2.8	15.6	△ 21.7	△ 2,176	3.9	295
中国	3,039	5.9	1,749	3.0	1,728	2.9	3.4	△ 43.1	△ 1,310	△ 1.2	△ 21
四国	780	3.9	930	3.4	974	3.6	1.9	24.9	194	4.7	44
九州北部	1,035	5.4	868	3.9	892	4.0	1.7	△ 13.7	△ 142	2.7	24
南九州	1,556	6.4	1,199	4.4	1,206	4.4	2.4	△ 22.4	△ 349	0.5	6
合計	64,734	5.9	49,369	3.7	49,893	3.7	100.0	△ 22.9	△ 14,841	1.0	523

(備考) 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 都道府県別の定期積金残高と先数の関係(17年度末→27年度末)



(図表5) 信用金庫別の定期積金比率



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。